



Internet Initiative Japan

株主通信

2021年3月期 上半期決算のご報告 2020.4.1—2020.9.30

株式会社インターネットイニシアティブ 証券コード:3774



代表取締役社長 勝 崇二郎

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、感染拡大により生活に影響を受けられた皆様に、謹んで御見舞い申し上げます。

弊社グループは、創業来、日本のインターネットインフラを創り上げその発展に寄与してきました。新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済は依然として厳しい状況下にありますが、弊社グループはこれからもインターネット及び関連システムを支え続け、技術革新を推進することで、社会に貢献し、皆様の生活や社会経済のお役に立てるよう尽力して参ります。

企業や官公庁のネットワークやシステムがレガシーな従来型から、中長期で業務効率やコスト効率の高いITサービスに移り変わりつつあります。弊社の成長戦略は、インターネット関連の唯一無二のネットワーク技術力を基盤に、企業ニーズにマッチする信頼性の高い多様なネットワークサービスを順次開発し、システムインテグレーションと併せ付加価値の高い総合ソリューションとして提供し続けることにあります。

当上半期においては、コロナ禍を契機に企業のIT利活用がますます重要になってきており、我々が従来から開発・蓄積してきた法人向けネットワークサービスへの需要が一層高まり、構造的に増収増益基調が強まる流れとなりました。

これらの結果、当上半期の連結売上高は前年同期比2.5%増の101,665百万円、営業利益は前年同期比56.3%増の5,239百万円と、想定を上回り推移いたしました。下半期も増益トレンドが続く見込みであり、通期業績見通しを上方修正し、期初の増配予定を上回る形で中間配当から更に増配とさせていただきます。

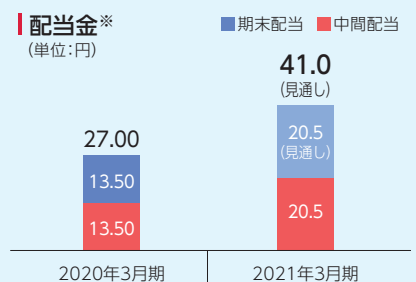
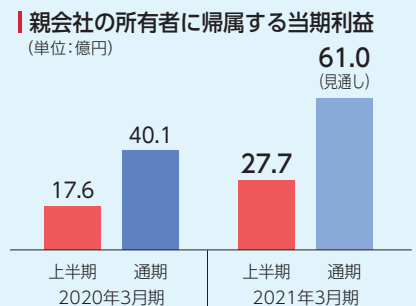
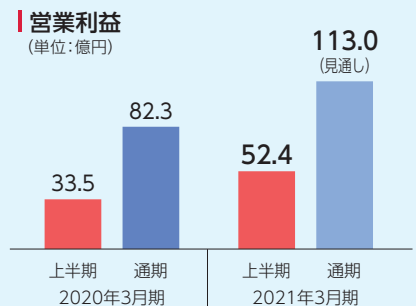
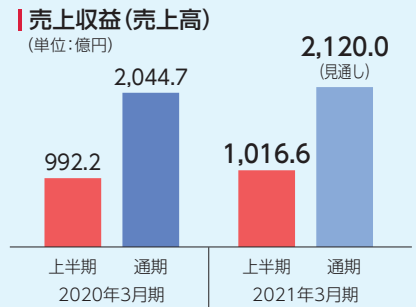
各事業分野におきましては、ネットワークサービスでは、企業のインターネットトラフィック需要の拡大に伴い、特にIP接続サービス売上が前年同期比10.1%伸長しました。IoT関連の案件ではトヨタ自動車北海道株式会社への導入を始めとする工場等における案件需要も高まっております。アウトソーシングサービス売上也前年同期比9.1%増と好調に推移いたしました。セキュリティ関連サービスの安定した売上伸長に加え、リモートアクセスのVPN関連サービス等が企業のテレワーク需要に合致し売上が牽引しました。システムインテグレーションでは、システム構築において、第1四半期にコロナ禍影響で受注が弱含みましたが、第2四半期には復調し企業や官公庁向けの案件が活況となりました。システム運用保守においてはクラウドサービス等で売上が伸長し、システムインテグレーション全体の売上は前年同期比6.3%増となりました。

足元の社会環境や技術進展等を背景としたITサービスの普及は、弊社グループにとってより一層の成長の機会であります。今後とも信頼性と高い技術力を軸に、社会・企業のシステム基盤を支えることで継続的な企業価値向上を実現して参りたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

連結業績ハイライト

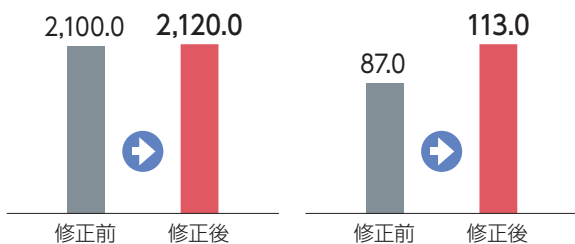


*株式分割を予定しておりますが配当金予想は当該株式分割前の額を記載しております。

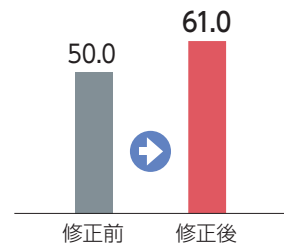
2021年3月期 通期業績見通し上方修正 中間配当の増額・通期配当予想の修正

修正前、修正後の比較

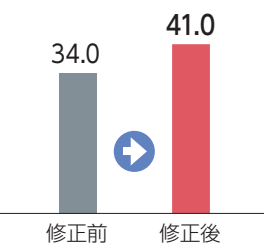
売上収益(売上高) (単位:億円) 営業利益 (単位:億円)



親会社の所有者に帰属する
当期利益 (単位:億円)



配当金 (単位:円)



2021年3月期 中間配当
中間配当
(前年同期比7.0円増)

20.5円

年間配当(予想)
41.0円

2021年3月期の1株あたり中間配当は、前年同期比7.0円増の20.5円とさせていただきます。(期初予想額から3.5円の増配となりました。)

※株式分割を予定しておりますが、配当金修正予想は当該株式分割前の額を記載しております。

IIJグループの優位性

Point 1 技術力

開発・運用・利用検証のサイクルで培った高い技術力

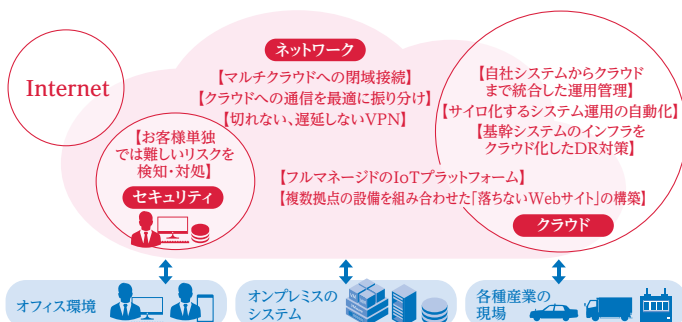
社会の需要を先取りし、多くのネットワークサービスを世の中に送り出してきました。また、システムインテグレーションや運用で得た知見を活かし、お客様に必要とされるITサービスを創り出してきました。サービス提供の現場で得た情報は社内で共有し、改善を繰り返し、品質の改善に努めることで、IIJの強みである「技術力」を継続的に高めて参りました。



Point 3 トータルソリューション

業界・業種・利用シーンを問わず、IT環境をクラウド上に集約し、高品質なトータルソリューションを提供

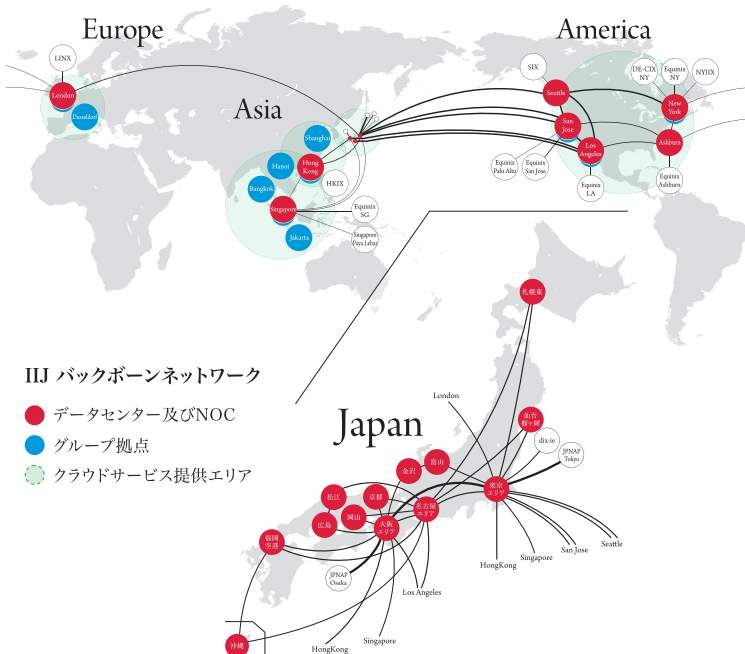
- ①ビジネスで必要とされるITのすべてをクラウド上から「機能」として利用できる環境を実現。
- ②人、モノ、コンピュータを、すばやく、確実かつ安全につなげる「ネットワーク」。
- ③情報系システムから基幹システムまで、あらゆるシステムに対応できる豊富なラインナップの「クラウド」。
- ④膨大な情報からリスクを検知し、システムとネットワークをありとあらゆる脅威から守る「セキュリティ」。



Point 2 国内最大規模のバックボーンネットワーク

大容量の高速デジタル回線で接続し、構成されたバックボーンネットワーク

日本最大規模のIIJのバックボーンネットワークは、NOC(ネットワークオペレーションセンター)間を大容量の高速デジタル回線で接続されています。各NOCは、無停電電源装置、空調、消火設備、厳重な入退室管理システムが整った場所に設置され、更に世界的にも評価の高い運用技術やネットワーク監視技術が、高品質な接続サービスを支えています。

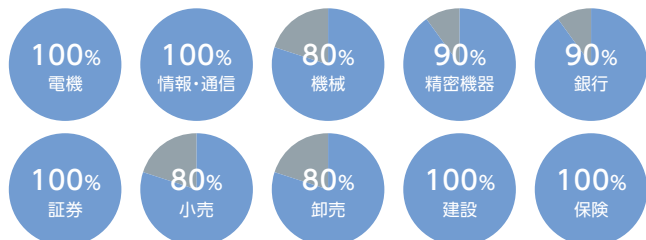


Point 4 多様な業種での採用実績

業界をリードする多様な業種のお客様

IIJグループのサービスは、大手・中堅企業や官公庁を中心に約12,000社のお客様に導入され、その信頼性に高い評価を頂いています。

業界トップ10企業へのサービス浸透率(当社のサービス提供企業)※4



成長分野への継続した取り組み

IoT

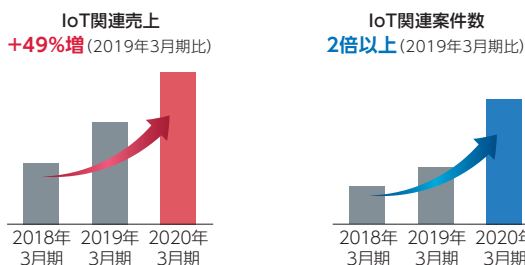
IoTとは?

Internet of Things(モノのインターネット)の略で、様々なモノに通信機能を持たせインターネットに接続することで、多様なデジタル情報の集積・活用が可能となります。IDC Japan調べでは、国内市場規模は2024年には12兆6,363億円に達するとされており。

IoTビジネスの事業概況と今後の展望

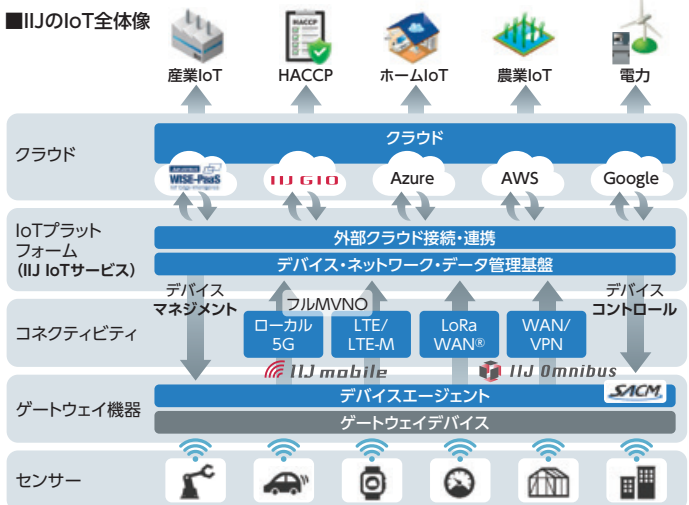
IoTの利用は、実証検証の段階を経て、事業会社の事業部門や製品開発部門での利用が徐々に普及しつつあります。

■IIJ IoT事業概況



当社IoT事業は2つの活動軸である「IIJサービスを市場に適した形で展開」と「市場向けの新たなIIJサービスの開発・展開」を軸に、事業展開を行って参ります。現状では、産業、農業、ホーム・見守り、エネルギー事業等の分野の実証実験を含めた事業の展開に注力しております。

■IIJのIoT全体像



IoTサービス提供に伴いクラウド・ネットワークサービス等のIIJ既存サービス群の利用増加による相乗効果を期待しております。

■導入事例紹介

トヨタ自動車北海道株式会社 様

工場生産ラインへのIoT導入をワンストップで実現

- 効果 ①設備稼働情報の可視化
- ②分析基盤を整備



日本精機株式会社 様

クラウド型遠隔監視システム「SMASH」の基盤としてIIJ IoTソリューションを導入

- 効果 ①点検業務を効率化し設備機器の遠隔監視を実現
- ②データの見える化で、目視では見落としがちな異常を数値把握
- ③予防保守や計画的な設備保守の実現



ネットワーククラウド/IIJ Omnibus

IIJ Omnibusとは?

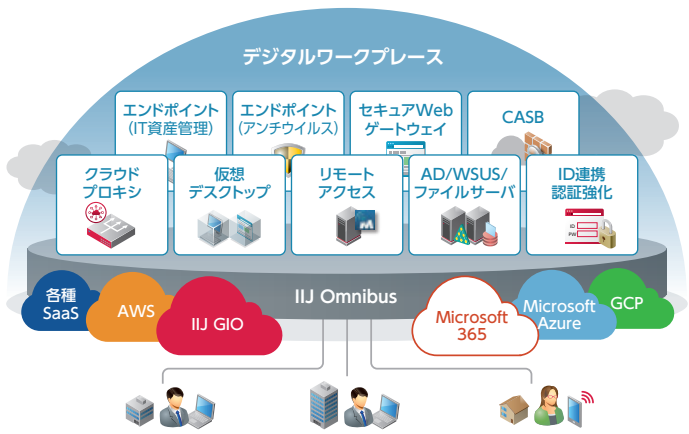
企業ネットワークに必要な機能を仮想化し提供する自社開発のクラウド型ネットワークサービスで、お客様のニーズに応じて必要な機能を柔軟性高く順次拡張可能なサービスです。IIJのインターネットバックボーンを活用し、安定したVPNや切れないリモートアクセス等で好評であり、お客様のデジタルワークプレースの実現を強力に支援いたします。

IIJ Omnibusの機能要素

- インターネット接続**
高品質なIIJバックボーンに直結した、高速で大容量のインターネット接続
- クラウド閉域接続**
IIJ GIO, Microsoft Azure, AWS, GCPなどの各種クラウドサービスやMicrosoft 365との、安全で快適な閉域接続
- WAN-SD-WAN**
各拠点に設置した対応ルータ(サービスアダプタ)とIIJ Omnibusを接続し、SD-WANを実現
- リモートアクセス**
任意の端末からのリモートアクセス機能や従来のVPNの課題であった「遅さ」「切れやすさ」を解消したリモートアクセス機能
- Webフィルタ連携**
IIJセキュアWebゲートウェイサービスはURLフィルタリング、アンチウイルス、プロキシなど企業に必要なWebセキュリティの機能を統合したクラウド型サービス
- ファイアウォール**
サンドボックスやアンチウイルス機能を搭載した次世代型ファイアウォール
- メールボックス連携**
IIJのメールセキュリティサービスのメールボックスへ閉域で接続
- データセンター接続**
IIJデータセンターのハウジングブラックへ、IIJ Omnibusから直接接続
- クラウドルーティング**
IIJ Omnibus上でトラフィックを複数のゲートウェイで負荷分散し、快適な通信フローを実現

IIJ Omnibusで最適な企業ITインフラを提供

「IIJ Omnibus」は、つなぐ人、デバイス、接続先などに応じて様々な処理を行いネットワークを最適化いたします。

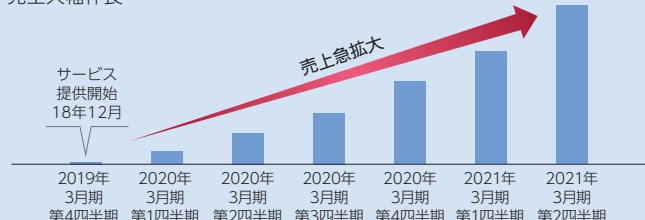


■IIJ Omnibusで実現可能なデジタルワークプレース(4つのポイント)

- 快適なテレワーク環境**
あらゆる場所から執務室のような快適なITシステムを利用環境
- 安心安全なテレワーク環境**
マルウェアなどインターネット利用におけるあらゆる脅威の排除
- 業務管理**
勤務状況や業務状況の見える化
- 高い生産性**
総合的なデータ分析による生産性の向上

■リモートアクセス需要が急拡大

セキュリティと利便性の両立を実現する「IIJフレックスモビリティサービス」売上大幅伸長



》 会社概要 (2020年9月30日現在)

会社名	株式会社インターネットイニシアティブ
本社所在地	〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 電話:(03)5205-6500(代表) E-mail: ir@iij.ad.jp
上場証券 取引所	東京証券取引所市場第一部 2006年12月上場(証券コード:3774)
設立年月日	1992年12月3日
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領 株主確定日	中間配当:9月30日 期末配当:3月31日

》 株式情報 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	75,520,000株
発行済株式総数	46,734,600株
株主数	7,491名
上位株主	持株比率
日本電信電話株式会社	21.6%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5.5%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4.6%
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	4.4%
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	4.2%
鈴木 幸一(※)	3.9%

(※)弊社代表取締役会長 鈴木幸一が間接的に100%所有する株式会社KS Holdingsは、弊社株式に係る同氏の共同保有者であり、同社は弊社株式810,000株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合:1.7%)を所有しております。

》 株主名簿管理人及び特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関する
お問い合わせ先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話 ☎ (0120)232-711(通話料無料)
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

Webサイト「株主・投資家向け情報」のご案内



是非弊社のホームページをご覧ください。決算説明資料や開示資料のほか、プレスリリースやFAQ集等のコンテンツを充実させております。

URLはこちら

<https://www.iij.ad.jp/ir/>

「IRメール配信」登録のご案内

「IRメール配信」にご登録頂くと、弊社から決算情報やIR関連情報をタイムリーにお知らせいたします。是非ご活用ください。お手続きは下記アドレスからお進み頂き、ご登録ください。

URLはこちら

<https://www.iij.ad.jp/app/form/ir-add/>

2020年 8月31日(月)にオンラインで会社説明会を実施いたしました。URLはこちら

説明会の動画は弊社のホームページにてご覧いただけます。

<https://www.iij.ad.jp/ir/indv/irevent/>

出典

(※1)ITR[ITR Market View:サイバー・セキュリティ対策市場2020]SaaS型Webゲートウェイ・セキュリティ市場:ベンダー別売上金額シェア(2018年度予測)

(※2)富士キメラ総研 月刊BT 2019年9月号「クラウド型メールセキュリティサービス市場調査」(2018年度金額ベース)

(※3)MM総研「国内MVNO市場規模の推移」(2019年9月末)

(※4)Yahoo!ファイナンス・売上高・全市場・デイリーをもとに弊社にて作成